

2022年度 JICA基金活用事業

NPO法人幸縁 『グアテマラで学習塾を開校し、学に志す子ども達の基礎学力を底 上げる学習支援事業』

伴走支援者： 松浦 史典

伴走支援期間：2023年1月～2024年2月 合計6回

1

団体の資源発掘から成果に至るまで

団体/個人の資源の発掘から始まり、「できていること>できていないこと」にフォーカスすることで、「できていること」スタートで支援がスタート。その結果、1年で「塾」の概念がなかった支援地域で塾が根づき始め、塾の運営も現地スタッフで自走できるようになった。

2

依存関係を作らない支援回数とメンターの役割

事業開始前からの14ヶ月の期間に6回という限られた面談回数であったことから、伴走支援者への依存関係を作らず、困った/悩んだ際のメンター的な役割も担った。また、6回のうち3回は対面で開催することができたおかげで、お互いの関係構築も可能となった。

3

他団体とのつながり構築やイベント参加

名古屋NGOセンター、日本ファンドレイジング協会東海チャプターとのつながりを構築。国際協力カレッジにて初出展するなど、団体としても積極的に新しいコミュニティに入っていたことは今後の活動につながる。